

診察室から こんにちは

ながまつ産婦人科・小児科
(レディースクリニック)

永松 晃
872-3788

南海本線鳥取ノ荘駅前(阪南市)
<http://www.rinku.zaq.ne.jp/nagamatsu>

無痛分娩について

理想的な、お産とはどんなもので
しょうか。

1、生まれた赤ちゃんが元気なこと。
2、感動(感激的な)お産であること。
3、なるべくなら痛くないこと。

1、2は当然として、痛くないお産。
本当にそんなお産があるのでしよう

か。無痛分娩についてよくきかれま
すが、アメリカでお産された方によ
ると米国では普通だそうです。

方法は、硬膜外麻酔という方法で、
腰からカテーテルを入れ、持続的に
麻酔をしてゆきます。お腹の手術に
はよく使われています。帝王切開す
る時の麻酔です。したがつて母児と

もに副作用も極めて少なく、また持
続カテーテルですので、麻酔が切れ
たら追加していく事が可能です。腰

椎麻酔の帝王切開では、麻酔が切れ
た後が辛かったという事をよく耳に
しますが、其の点、疼痛管理には良
い麻酔方法です。

この硬膜外麻酔が無痛分娩に使わ
れます。もちろん初めは自然の進行
を見守ります。それで順調にいけば
なんの問題もありません。途中でお
産は少しづつ進んでいるけど痛みが

辛すぎるといつた時など、希望され
れば無痛(または減痛)にする事が
できます。陣痛を少ししか感じない
ようにしてお産をすこしゆきます。
微笑みながら分娩され、感激しなが
ら我が子をお抱きになる方が多くお
られます。

勿論、普通にがんばつてお産され
る方が大多数ですが、ラマーズ法、
ソフロロジー法の呼吸法が理想通り

には行かない場合もあり、自然では
我慢の限界を超えた痛みもあるのも
事実でしょう。

「ガンバレ」「ガンバッテ」式の
応援や挨拶が日本では多いように思
います。

インフルエンザ流行か
普通のかぜと違ひインフルエンザ
は高熱をともなう怖いものです。免
疫的に弱いお年寄りや、子供さん、
妊婦さん、また受験生の方、ぜひ予
防接種を受けましょう。

年内で終了予定。

いますが、お産で疲れ果て、次の妊娠
をためらう方もおられます。

お産の後、母乳、育児とお母さん
にとては大変な事が続きます。無
痛分娩をされた方のアンケートを読
んでみると、産後の回復が早かつ
たという答えが多いようです。
ぜひお勧めというわけではありません
せんが、分娩方法の選択肢の一つと
してあると思えば、分娩に対する不
安が、少なくなるとおもいます。

